＜先週の説教から＞

『ルカ㊱―本当の癒しとは？』

武田真治牧師

レビ記 13：1～8、45～46　ルカ福音書　5：12～16

『新共同訳聖書』では、かつて「らい病」と訳されていましたが、差別用語ですので「重い皮膚病」と直されています。今回、2018年に出版された『聖書協会共同訳』では「規定の病（＝旧約聖書の律法に規定されている病い）」と訳されています。この規定については、レビ記13～14章に特に詳しく書かれており、そこでは、この病に罹られた人は、①道を歩く時には手で口を覆いながら（＝いわゆるマスク）『私は汚れた者です』と叫びながら周りに注意を払わせること、②住んでいる場所から同じ病の人たちが集められている隔離場所に移される等と規定されています。この状態は、私たちにとってコロナ禍を思い出させますね。ただ、コロナはそのウイルスを克服さえすれば、また元通りに復帰し生活できますが、この病はほぼ不治の病と考えられていました。

今日の箇所でイエス様に対して『主よ、御心ならば　わたしを清くすることがおできになります。』ととても控えめに、この病に罹っている人がイエス様に癒しを申し出ていることは、自分の置かれている当時の社会的状況を考えたら、このようにしか言い得なかったとも思えます。

そのような彼に対してイエス様は「手を差し伸べてその人に触れ、『よろしい。清くなれ』と」言われたのでした。ここでのイエス様の凄さは、何より「手を差し伸べて、触れて」おられる点でしょう。人々から隔離され、疎外されているこの人に対して、ご自分の方から近づいておられるのです。そして、その患部に直に「触れて」治しておられます。『どんなにか、この点であなたは苦しめられて来たのだろうねー』という“共感”を示しておられるように思います。同時に、ここが癒されなければならないという強い思いも込められておられると言い得ます。私は、イエス様が私たちの“罪＝問題点”を『ここだよね』と敢えて指摘される行為の重要性を教えられます。同時に、それは『辛かったね、癒してあげよう』という“共感”していただける点でもあります。

ただ、イエス様はそれで終わられませんでした。続いて「行って祭司に体を見せ（治ったことを）人々に証明しなさい」と命じられているのです。何の意味があるのでしょう？

これは《日常へと戻ること＝社会復帰》と言い得ます。ただ、病が治ればそれで終わりではないということでしょう。むしろ、この“また日々の暮らし”へと向かわせるために病を癒されたのです。ここにイエス様がその人を“救われる”ことの意味がとても良く表されていると思います。病の癒しが最終目的ではなく、その人が“活き活きと生きられる”ようになることが《本当の癒し》なのではないでしょうか。そのことをイエス様が教えてくださっているのです！

この癒された人は、もはや以前の生き方を繰り返すはずがなかったと思います。イエス様から“新しい命”を与えられたことを感謝して、その後の人生を良きことのためにと“生きて行った”にちがいないと思います。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【今週の集会】

＊聖書研究・祈祷会　Ⅰ．2月19日（水）20：00
　　Ⅱ．2月20日（木）10：30
聖書研究：　ローマの信徒への手紙
祈祷主題：　定期総会を覚えて
担当者：　（水）村上　　（木）金刺
祈りに覚える人：　鈴木さん　　鈴木さん
＊ハンナの会　　2月18日（火）10：30～

【教勢報告】

主日礼拝　　男22　女52　計74
祈祷会　Ⅰ.男4　女2　計6　Ⅱ.男1　女7　計8
日曜学校　　幼稚科3　小中科4　計7

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【次週礼拝】　2月　23日（日）

聖　書：詩　編　49：1～21
　　マルコによる福音書　8：31～38
説　教：「詩編㊽―私とあなたの魂が大事！」
　　武田　真治　牧　師
讃美歌：17(1)、32、211、414、518、90（1）

【次週当番表】

司式:茨木長老　奏楽:中村　礼拝:金刺長老
献金：伊藤　伊藤　受付：金刺　坂田
会堂準備：大野　勝村　黒澤　鶴巻
　　西尾
看板：中村　週報：飯島　お花：飯島

【次週集会予定】

礼拝前：・聖書輪読会　・求道者会
礼拝後：・教会総会
　　・ダビデ会一泊修養会

週　報

2024年度　教会標語

「主につながり、その枝としてひろげて」

２０２５年　　２月　１６日

日本キリスト教団　**上尾合同教会**

牧　師　　武田　真治

〒362-0041　上尾市富士見２－３－33
TEL＆FAX　048－771－6549
http://www.ageo-church.org/